



千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との 視察懇談会を開催しました！

7月20日（木）、八街市にある「生活クラブ・虹と風のファーム」の視察をおこないました。環境生活部からは、渡辺くらし安全推進課課長ほか3名 千葉県生協連からは理事・監事・事務局を含め16名が参加しました。

「生活クラブ・虹と風のファーム」は、ローカル SDGs のモデルとして、『食』『エネルギー』『福祉』が連携する仕組みを創るため、社会福祉法人生活クラブ（風の村）と生活クラブ生協千葉（虹の街）が共同農園を開園しました。障がいの有無にかかわらず、農業を通して多様な人が出会い、交流し、働き合う農園を目指しています。

食：八街市、佐倉市に保有する農地で作物を栽培。
生活クラブの消費材の原料、収穫された作物を
デポー（虹の街のお店）で販売しています。



地這いトマト
「トマトケチャップ」の原料



太陽光パネルの設置は地域住民へ丁寧に説明。農作業のしやすさ考慮し、パネルの高さや柱を設置。作物は、日照量を考慮して選択。

エネルギー：営農型太陽光発電

（ソーラーシェアリング）虹の街ではエネルギー自給の取り組みとして「虹と風のファーム」の農地の上に太陽光パネルを設置し、生活クラブ SOLAR 虹と風のファーム八街発電所「ふぁそらん」を開設。「生活クラブでんき」の発電所として稼働しています。

福祉：ユニバーサル就労 「風の村」では食を支える農業と、働きづらさを抱えた方をつなぐ就労継続支援 B 型事業所として「虹と風のファーム」の中に「生活クラブ農仲舎八街」設立しました。



くらし安全推進課
渡辺課長

見学後、車で3分ほどのところにある、「コープみらい八街の森」に移動し、環境生活部の渡辺くらし安全推進課課長よりご挨拶をいただいた後、「虹と風のファーム」について、田邊相談役より詳しい説明をきました。また、コープみらい千葉県本部より、「コープみらい八街の森」について説明がありました。



生活クラブ・
虹と風のファーム
田邊相談役

なお、時間の都合により本日は視察のみとなり、環境生活部との懇談会は改めて11月に開催する予定です。

以上